

この夏、都内から複数の「世界チャンピオン」が誕生した。青梅市の女性は新スポーツで頂点を極め、府中市の小学生はゴルフで世界のトップに立った。2人はそれぞれ地域の自治体を訪ね、今後の夢や抱負を語った。

フで世界のトップに立った。2人はそれぞれ地域の自治体を訪ね、今後の夢や抱負を語った。

ジュニアゴルフ 世界の舞台で頂点 クロスミントン

高速ラリーの新競技2冠

阿部優理菜さん(27)は、ドイツ生まれの新競技「クロスミントン」で世界を制した。青梅市で生まれ育ち、現在は同市内の医療機関で勤務する。22日には浜中啓一市長を表敬訪問して優勝を報告。「これからも活躍を続け、競技を広めていきたい」と語った。

阿部さんは青梅市立新町小学校でバドミントンを始め、中学校では関東大会に出場し、ベスト8に入ったこともある。高校、大学を経て、就職後もバドミントンを続ける傍ら、競技経験が生かせそう

青梅の阿部優理菜さん「絶対的女王」破る

な新スポーツに興味を持った。自宅から通えそうなクラブを探し、18年から埼玉県内のクラブでプレー。「新しく始めたクロスミントンのほうが、どんどんうまくなっていくのが面白かった」

19年には、ハンガリーで開催された世界選手権に初出場。シングルスは準々決勝まで進み、欧米のトップ選手のスピードやパワーに驚いた。以降、男子選手を相手に練習を重ね、今年6〜7月にクロアチアで開かれた世界選手権に再び出場。シングルス決勝では、世

界ランク1位のスロベニアの選手をセットカウント2-0のストレートで下し、初優勝を果たした。新競技とあって、遠征費は自己負担。今回の世界選手権には参加費を含めて数十万円かかったという。それでも「世界のトップレベルの選手と試合ができるチャンス。今回は結果も出せて、最高の気分です」。日本クロスミントン協会副会長の今田恵美さん(67)は「決勝で破ったスロベニアのヤスマナ選手は絶対的な世界女王で、すごい快挙」とたたえる。日本勢

で最初に世界のトップに迫ったのは、バドミントンでも国内トップクラスの実績を残した西村昭彦さん(35)＝都内在住。前回大会で西村さんと阿部さんのペアで果たした混合ダブルス優勝が、日本勢初の世界一だった。今回も同じペアで出場して連覇し、2人とも、シングルスとの2冠に輝いた。

国内の競技経験者は現在4千人ほど。阿部さんは19年、青梅市内では初めてのクラブ「青梅クロスミントン」を立ち上げた。世界選手権は年代別の部もある。「どんな場所でもプレーでき、年齢を問わず世界を目指せる。魅力あるスポーツを、地元の人たちにも広く知ってほしい」と話している。

(杉山孝子)



世界選手権でプレーする阿部さん＝クロアチア・ザグレブ、本人提供